

子育てほんわかタイム

大切にしたいね、家族の会話



のへじの教育

Contents

- 祭り担い手育成事業……………表紙
- 令和8年度教育費予算……………1・2
- 教育ニュース……………3～5
- 中学校部活動地域展開……………5

かしこく、やさしく、たくましく、しなやかな野辺地っ子！地域が支える野辺地の教育

発行／野辺地町教育委員会 Tel 0175-64-2119 Fax0175-64-8083



野辺地小学校での祭り講座

未来へつなく！ こどもたちが担う ふるさとの祭



山車づくり体験



若葉小学校での祭り講座

昨年の夏、歴史民俗資料館の主催による「祭り担い手育成事業」が実施されました。この事業は、祭り文化の継承を目的に、こどもたちが祭りに参加するきっかけを提供するために企画したもので、町内の祭典部と連携し、祭りについて学ぶ講座や山車づくりを体験する講座が開催されました。

野辺地小学校と若葉小学校で行われた講座では、それぞれの学区に所属する祭典部の方々が学校を訪問し、児童たちに祭り囃子の紹介や実際に囃子を体験する機会を提供しました。また、山車づくり体験には、小・中学生9名が参加し、山車に飾るためのもみじの葉を枝に付けたり、波に色を付けたりする作業を行いました。

本事業は、令和8年度も引き続き実施する予定です。



野辺地町教育費予算について

令和8年度における教育費の当初予算額は、総額で15億4,713万4千円となりました。町の一般会計歳出予算総額に占める教育費の割合は、18.5パーセントです。主な事業は以下のとおりです。 [] は当初予算額

◆学校教育

こどもまんなかの学び

- 野辺地中学校への校内教育支援センターの設置【新規事業】 [2,650千円]
登校はできるが教室に入りづらい、集団生活に不安や困難を感じているなど不登校傾向にある生徒が安心して過ごせる居場所をつくり、学習や相談などの支援を行います。
- 教育相談室、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの活用 [6,726千円]
- 小・中学校へのスクールサポーターの配置 [43,205千円]

みんなで支えるこどもの育ち

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）による地域・保護者と一体となった学校づくり [66千円]
- 各種大会等の参加費用に対する支援 [4,645千円]
- 経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対する就学援助 [6,076千円]
- 野辺地中学校生徒の各種検定受験料の支援 [340千円]
- 小・中学校でのフッ化物洗口の実施による歯科保健の推進【新規事業】 [1,405千円]
こどもたちの将来にわたる口腔の健康を守るため、フッ化物（フッ素）を含む洗口液でうがいをを行い、歯の表面を強くしてむし歯を予防します。
- 学校給食費の無償化 [34,366千円]
- 野辺地高等学校魅力化推進事業（資格取得費、制服購入費、通学費の支援） [1,812千円]

こどもの学びを支える教育環境

- 小・中学校への外国語指導助手（ALT）の配置 [12,722千円]
- デジタルを活用した学びの推進 [23,721千円]
- 統合小学校の新築、統合準備委員会の設置 [748,482千円]
- 校務のICT化による教職員の働き方改革の推進 [4,547千円]
- 学校給食共同調理場の照明LED化工事【新規事業】 [8,909千円]

◆社会教育・スポーツ

人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

- のへじ元気講座の開講 [50千円]
- ハッチョウトンボ生息地の保護と活用 [10千円]
- 町文化賞の表彰 [231千円]

地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

- 生涯学習大学の開設 [90千円]
- 在学青年ボランティアの活動 [15千円]

学校・家庭・地域の連携・協働による未来を担う人財の育成

- 家庭教育推進支援の充実 [145千円]
- 部活動の地域展開に向けた取組【新規事業】 [1,260千円]
中学校部活動の地域展開を円滑に推進していくため、町が認定した地域クラブ活動の運営団体等に対して補助金の交付を行います。

社会教育推進のための基盤整備

- 社会教育団体に対する支援 [274千円]
- 青少年ホーム、有戸地区学習等供用センターの外壁塗装工事【新規事業】 [15,134千円]
- 中央公民館、図書館の照明LED化工事【新規事業】 [25,474千円]
- 図書館開館時間の延長試行【新規事業】 [137千円]

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- 水泳教室の開催 [225千円]

競技スポーツの推進

- 体育（スポーツ）団体に対する支援 [1,474千円]
- 競技スポーツ強化のための支援 [3,100千円]
- 町スポーツ賞の表彰 [609千円]

第80回国民スポーツ大会の開催

- 国民スポーツ大会関連費 [52,647千円]

◆歴史・文化・芸術**郷土を愛する心と人財の育成**

- のへじ検定の実施 [25千円]
- 校外学習等を活用したふるさと学習の開催 [155千円]
- 縄文くらはらPR・活用事業の実施 [248千円]

歴史・文化・芸術の継承と活用

- 日本遺産等の文化財に関する情報発信 [514千円]
- のへじ祇園まつり担い手育成事業 [114千円]

郷土史資料や文化財の保存・活用の促進

- 旧野村家住宅離れ（行在所）夜間特別公開の開催 [274千円]
- 「野辺地の民俗」教育パックの作成に向けた調査 [580千円]

〈野辺地小学校〉

おなじみとなった修学旅行での「野辺地町PR活動」。昨年も、手作りパンフ・とれたて葉付きこかぶを携え、町から借りたはっぴとのぼりで猛アピールしてきました。今回はスウェーデンの方も聞いてくれました。もちろん英語で！

数週間後…。こどもたちのPRを聞いた4組の他県の方が野辺地町を訪問！そのうち2組の方は、パンフレットに付いた割引券を町観光物産PRセンターで使用！！更に、長野県の方は本校を訪れてくれました。更に、更に、神奈川県の方は励ましのお手紙まで！！こんなにたくさんのつながりを生み出したことにオドロキです。たくさんの地元の方々の協力に感謝しつつ、達成感を大いに味わえた貴重な取組でした。



反響の多さにオドロキ！



〈野辺地中学校〉

今年も野中生による地域ボランティア活動を実施しました。6月には全校生徒による通学路清掃を実施し、冬期間には「Snowハンター隊」による校地内の除雪作業を行っています。8月22日・24日に開催されたのへじ祇園まつり山車合同運行では、「押忍！ 押す押す隊」を結成し、山車運行に協力することができました。背中に書かれた「押忍！ 押す押す隊」には、例年、地域の方からたくさんの声援をいただいております。8年度も出動します。応援よろしくお祈りします。

日頃、地域の方からたくさんのご支援をいただいていることに感謝の気持ちを行動で示したいと、生徒会が中心になって活動の企画・運営を行っています。これからも町内唯一の中学校として、地域に愛され、信頼される野辺地中学校を目指して頑張ります。



「地域貢献ボランティア2025」

〈若葉小学校〉

マーチングバンド部の演奏から始まり、低・中・高ブロックごとに歌唱・器楽・リズム・踊り・70周年を記念したこどもたちからのメッセージがギュッと詰め込まれた発表になりました。フィナーレは全校合唱。(指揮は校長先生です。)コロナ禍を挟んで、途絶えていた全校児童の歌声を久しぶりに披露することができました。

保護者の皆様からは、「笑顔で歌っている姿に、こちらも笑顔になりました。」「よっちょれ。とてもかっこよかったです。」「マーチングバンドも、少ない人数でも頑張っていて素晴らしかったです。」「全校合唱、とても感動しました。」といううれしい声が聞かれました。発表する側と聞く側が一体となったすばらしい発表会になりました。



「創立70周年記念わかばつ子音楽発表会」(11月21日)

〈社会教育・スポーツ課〉

令和8年2月1日に、国設まかど温泉スキー場(あったかハウスまかどの森クロスカントリーコース)において、第56回青森県小学生スキー大会を開催しました。

昨年度は、競技会場の一部が使用できなかったため、代替え大会による開催となりましたが、今年度はその問題も解決し、2年ぶりの本格開催となりました。

出場した児童たちは、時折吹雪く厳しい天候にもかかわらず、日頃の練習の成果を存分に発揮し、仲間や家族からの温かい声援を受けながら力いっぱい雪の中を駆け抜け、ゴールを目指しました。

リレー男子では、野辺地クロスカントリーSCが3大会ぶりの優勝を果たしました。



第56回青森県小学生スキー大会開催

〈学校教育課〉

町では、小学校統合に伴う新校舎の整備を進めるため、これまで計24回にわたる検討委員会を開催し、保護者や教職員、地域の皆さまのご意見を伺いながら、設計段階での校舎の配置や機能、学習環境の充実などについて検討を重ねてきました。

このたび、工事に向けた実施設計が完了し、令和8年度中には建設工事に着手する予定であります。新校舎の建設場所は、現在の野辺地小学校グラウンド北側となります。

令和10年度の移転、一部供用開始を目指し、こどもたちが安心して学び、地域に親しまれる学校となるよう、引き続き取り組んでいきます。

完成イメージ図



統合小学校の新築に向けて

〈図書館〉

図書館では、町民が読書を深く楽しむための機会づくりとして、令和5年度から、青森県内で執筆活動をしている方を講師に招いての読書講演会を開催しています。

令和7年度は、平川市在住コラムニストの山田スイッチ氏をお迎えし、12月20日に開催しました。

講演会では、山田家の「元気すぎるバッチャ」をはじめとする家族の日常や、「ミステリーハンターになる夢」を掲げ上京し、原宿で迷子になった時に喫茶店で食べたサンマ定食をきっかけに、ブラジルでサンマを売ったエピソードなどが紹介され、会場は笑いに包まれました。また、全員で体を動かしたり、終了後に講師からサプライズプレゼントがあったりなど、参加者は大いに講演会を楽しみました。



令和7年度読書講演会

〈中央公民館〉

中央公民館では、地域の指導者のもとで日本の伝統文化に触れる交流の場として「文化少年団」を結成しました。

「郷土カルタと百人一首を楽しむ会」「茶道」「料理」の3つの講座を設け、団員を募集したところ、延べ12名のこどもたちから申し込みがありました。講座は合わせて8回開催され、多くのこどもたちが伝統文化に親しむ機会を得ることができました。

最終日には、各講座で学んだ団員たちが集まりクリスマス会が開かれ、指導者の皆さんとも一緒に楽しいひとときを過ごしました。



文化を学び、心を育てる文化少年団活動

〈野辺地西高校〉

令和7年6月2日に、青森県高校総体男子サッカー競技の決勝が八戸市プライムスタジアムで行われ、本校は青森山田高等学校を破り、初優勝を果たしました。

これまで何度も高い壁にはね返されてきましたが、今回の決勝では1-1で決着がつかず、PK戦を6-5で制して優勝しました。その後、選手たちはインターハイという全国の舞台を経験し、大きく成長することができました。

役場庁舎へ応援の懸垂幕を設置していただき、商工会をはじめ町のいたるところでお祝いと激励のポスターを掲示していただくなど、町を挙げて暖かいご声援をいただき本当にありがとうございました。

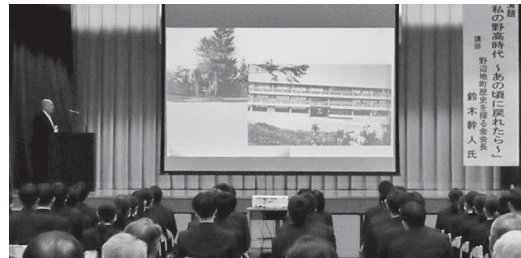


サッカー部、県高校総体で初優勝！

〈野辺地高校〉

本校は、令和7年10月11日に、創立100周年記念式典を挙行することができました。この日を迎えるために3年前から準備が始まった関連事業はすべて計画どおり遂行され、町民の皆様からも多くのご協賛やご支援をいただきました。衷心より感謝申し上げます。

このご厚意に応えるべく本校は、令和8年度から地域共育校としての新たな一歩を踏み出します。これまでの100年の伝統を踏まえつつ、急速な時代の変化に対応した教育環境を整備し、生徒個々が生き生きと躍動する場面を数多く創出することで、活気ある地域づくりへとつなげ、野辺地町との共存共栄を目指します。新たな世紀に歩を進める野辺地高校にどうかご注目ください。



創立100周年とこれからの野辺地高校の針路

中学校部活動の地域展開に向けた取組を進めています

町教育委員会では、国の方針に基づき、令和8年度から中学校部活動を段階的に「地域クラブ活動」へ展開（移行）していきます。

■何が変わるの？

これまでは

- 学校が主体
- 教職員が指導
- 放課後・休日は学校部活動



これからは

- 地域クラブが主体
- 専門性のある指導者
- 学校・地域・保護者・行政が連携

学校部活動は学校の管理下で行われますが、展開後は地域クラブなどの運営団体の管理下となります。また、地域クラブの活動場所、時間、費用などはクラブごとに異なります。

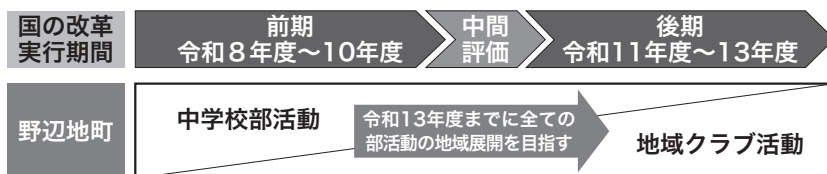
■なぜ、地域展開するの？

生徒数の減少により、部活動をこれまでと同様の体制で運営することが難しくなっています。また、部活動顧問を務める教職員の多忙化や長時間労働が指摘されています。

これらの課題を踏まえて、地域全体で子どもたちを支える新しい仕組みに変えていきます。

■展開スケジュール

国の改革実行期間に合わせ、令和8年度から令和13年度までの6年間を地域展開推進計画期間とし、この間に全ての部活動を地域クラブに展開することを目指します。



■地域の皆さまへ

地域クラブの指導者や運営スタッフとしての参画にご協力をお願いします。子どもたちの成長を地域全体で支えましょう。